平成３０年度
塩釜高校入学式が挙行されました！

平成30年4月9日（月）宮城県塩釜高等学校入学式が挙行されました。入学式では、竹内透校長先生が「新入生の皆さん入学おめでとうございます。みなさんは、厳しい入学試験を突破し晴れて塩釜高校生になりました。そのことに誇りを持ち同時に責任を自覚してください。」などと式辞を述べられました。（式辞全文は3頁）

新入生代表の渡邊歩美さんは、「念願叶ってこの歴史と伝統のある塩釜高校に入学できました。これから始まる新しい生活への期待と不安でいっぱいですが、校長先生を始め諸先生方の教えを守り、自覚と誇りを持ち、四つの校訓を実現すべく日々努力することを誓います。」と挨拶をしました。（作成:総務部）

入学式を終えて（1学年主任　小島美貴）

例年よりも早い桜の開花とともに、4月9日（月）にビジネス科８０名、普通科280名の新一年生が、まだ中学生の面影を残しつつも、真新しい制服に身を包んで塩釜高校へ入学しました。入学式の態度は大変素晴らしく、特に呼名の返事はとても大きく、安心するとともに、きっと楽しい学年になるだろうととてもうれしくなりました。これから3年間、たくさんのことを学び、成長して卒業してほしいと心から願っています。一緒に頑張りましょう！

入学式 式辞

寒さ厳しく雪が多かった冬も過ぎ去り、今は正に春爛漫、桜の花が満開です。新入生諸君の胸も希望でふくらんでいると思います。本日ここに、本校ＰＴＡ会長、及川　安丈様はじめ、多くのご来賓の方々、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、宮城県塩釜高等学校第９回入学式を挙行できますことは、本校にとって大きな喜びであります。学校を代表し感謝申し上げます。

さて、新入生の皆さん、入学おめでとう。諸君は、厳しい入学試験を突破し、晴れて塩釜高校生になったのです。そのことに誇りを持ち、同時に責任を自覚してください。私達の塩釜高校は、町の方々から大変に愛されています。それは、君たちの先輩達の地道な努力によるものです。気持ちの良い挨拶や、野球部の清掃活動や、吹奏楽部の演奏活動など、数え上げればきりがありません。評判を上げるというのは一朝一夕にはできません。ここまでくるには何年間もの時間が必要でした。今では、塩高の生徒だというだけで、町の人たちから温かな目で見られます。だからこそ、学校の名に恥じぬ行動をとる責任が君たちにはあるのです。評判を上げるには長い時間が必要ですが、評判を落とすのは一時で足ります。肝に銘じて下さい。

入学にあたり、勉強する意味について、お話しします。学校は基本的に勉強をする場です。勉強なんかしなくていいと言えば、理解のある大人に見えますが、それでは私達の社会は成り立ちません。君たちが勉強するのは、自分のためと言うよりも、社会のためです。だから、教育にたくさんのお金が使われ、学校には、君たちを有為な人材に育てる使命があるのです。『有為な人材』とは、働くことによって社会に貢献できる人のことです。しかし同時に、人の役に立つことが、結局は自分のためになるのだと、私は考えています。どんな仕事であっても、誰かの役に立ったと実感できて初めて、人は達成感と幸福を感じるものです。例えば、医師にとっての喜びは患者が元気になることのはずだし、料理人は自分が作った物をおいしいと言われることが何より嬉しいはずです。難しい言葉で自己実現といいますが、本当の幸福は、人の役に立つことで、初めて得られるのです。

では、自分は人のために何ができるか。まだ分からない人の方が多いと思います。自分にはどんな能力があって、どんな仕事が向いているのか、それを見つけるための勉強です。でも勘違いしないでください。自分はエンジニアになるつもりだから、夏目漱石なんか読まなくていい、ということではありません。将来どんな仕事に就こうと、連立方程式は解けなくちゃいけないし、平家物語の最初くらいは空で言えなくちゃいけないし、産業革命がいつどこで始まったのかは知っていなくちゃいけません。高校で学ぶ勉強は、人としての幅を広げるための勉強です。大学や専門学校で学ぶような、プロフェッショナルな人材育成を目的とした専門教育とは異なります。人としての幅が狭ければ、選択の幅も狭まるし、そもそも、『自らの進路を選ぶ』という行為そのものが危ういものになります。将来の夢を、中学校でも考えたと思いますが、私はそんなに焦って決めなくていいと思っています。それよりもまず、勉強することです。勉強して大きな人間になることです。そうすれば答えは自然に得られるものです。勿論、教科の勉強だけが勉強ではありません。部活動も立派な勉強です。部活動や学校行事を通して、自己に打ち克つ努力の尊さや、人を思いやる気持ちの大切さを学べます。塩釜高校での三年間を通して、勉学に励み、部活動に打ち込み、一回りも二回りも大きな人間に成長して欲しいと願います。

保護者の皆様に申し上げます。晴れの日ではありますが、少し耳の痛いことをお話しますので、その点ご容赦ください。東北大学の川島隆太教授の調査研究によれば、スマートフォンや携帯電話などの情報端末に触れる時間が一日に２時間を超えると、明らかな学力低下が見られます。ところが、LINEの場合は１時間で学力が下がるそうです。既読スルーを避けようと四六時中着信音を気にしているようであれば、それもうなずける話です。また、SNSによる誹謗中傷やネットいじめの話もよく耳にします。情報化社会と言われるようになって久しいですが、情報端末はとても便利なツールである反面、使い方を誤ると大変危険な道具になります。そして、多くの人が使い方を誤っています。このことを、私たち大人はよくよく胸に留め置かなければいけません。スマホの使用を学校が監視・監督することは不可能です。ぜひ、それぞれの家庭で、親の責任で管理してほしいと思います。ともあれ、お子様方はこれから、青春と呼ばれる、人生の中で最も輝かしい季節を迎えます。塩釜高校での三年間が、新入生一人一人にとって実り多いものであることを、そして、ご参列の皆様の益々の発展を祈念し、式辞といたします。

平成３０年４月９日

宮城県塩釜高等学校

校長　竹内　透